

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・ポラリス		
○保護者評価実施期間	令和8年1月21日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年1月21日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	昨年度に引き続き、回答頂きました全保護者様より、支援に満足との回答を頂ける事象所であることは何よりも事業所の強みと考えております。(※クラウドアプリHUGを使用し、無記名投票での結果)	事業所の主軸として「社会性」を常に意識した取り組みを実施しております。社会性の土台をつくり、社会性を獲得し、社会性を向上していくプロセスを意識し、児童毎の現時点のステージをとらえた上で、ステップアップするための取り組みを日々の支援に盛り込んでおります。また、知識をつねに更新するため、全職員が行動援護従事者資格を取得するとともに、初任者研修→実務者研修→介護福祉士といった介護関係資格の取得や保育士資格の取得にも取り組んでおります。	法人全体を通して、全職員のスキルアップに徹底的に取り組んでおります。また、研修においても脳科学や認知科学、心理学を踏まえた勉強会を実施し、児童の特性を多角的な視点から考え、よりよい療育を実施するようにつとめております。
2	昨年度に引き続き、回答頂いた全保護者が『こどもは安心感をもって通っていますか?』の問いに対し『はい』を選択している。(※クラウドソフトHUGを使用し、無記名投票での結果)		
3	昨年度に引き続き、全スタッフが『適切な支援の提供ができています』にかかるすべての問いに対し『はい』を選択している。	『WILLCAREの存在を通じて、関わるすべての人をHAPPYにする!』という経営理念の浸透をはかり、スタッフ全員が共通のゴールに向かって団結するために、組織力アップにつながる研修や取り組みに沢山の時間をとっている。	越えるべきは昨日までの自分であると個々が認識し、引き続きより良い療育の実現に向けて啓発を忘れない。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や兄弟支援の状況についてや他の児童との交流について「どちらともいえない・いいえ・わからない」に多数の票が入っていること。	利用児童の手作りでの縁日を地域に開放し、近隣の方々が自由に参加できる催しを開催したり、平日頃より当社が併設するヘルパーステーション・ポラリスの職員によって、ご家族の急用へのご対応やレスパイトケアを実施しております。課題は、せつかくの事業所の取り組みが一部の利用者様にきちんと周知されていない点にあると考えます。	SNSでの発信にとどまらず、送迎時や個別面談時等に丁寧にお伝えしていくことを心掛けます。
2			
3			